

鎌倉・逗子・葉山・横須賀・三浦で働く労働者の祭典

# 2026 三浦半島統一メーデーを開催！



4月25日(土)10時から、逗子市第一運動公園にて「2026 三浦半島統一メーデー」が開催されました。

逗子市での開催は3年目となり、当日は天候にも恵まれ加盟組織の組合員・ご家族・近隣住民の皆様との参加のもと、約1,700名の方々と盛大に開催することが出来ました。

ステージでは、加盟組織の日産自動車労組より横浜、横須賀を中心に

活動しているサークルを母体とした太鼓の達人「和知太鼓」から始まり、三菱電機(株)および関連会社で働いている社員と家族で構成されているオーケストラ「ソシオテックウインド・オーケストラ」と続き式典前の会場を盛り上げました。

式典では、冒頭磯部実行委員長より「メーデー集会には、労働組合、職場、地域など様々な立場で日々頑張っておられる皆さんが集まっています。一人一人の力は小さく見えますが、声をあげ、力を合わせれば社会を動かすことが出来るはず。すべての人が尊厳をもって生きられる社会の実現を求める2026 三浦半島統一メーデーにしましょう。」との挨拶がありました。また、来賓として連合神奈川小田副会長、県労協菅野事務局長、三浦半島4市1町の首長・各級議員・福祉団体よりご挨拶をいただきました。来賓あいさつが終わると、メーデースローガン・メーデー宣言(案)の採択が行われ、最後に実行委員会役員、来賓・地域連合議員団を含めた全員による団結ガンバローで締めくくりました。

会場では、福祉活動として「タオル一本運動」「フードバンク活動」「連合・愛のカンパ」などが行われました。また、新たな試みとして三菱電機の関係会社で障がい者が製造したクッキー販売を実施し用意した300セットを完売し、売り上げの一部を寄付することが出来ました。

その他にも、豪華賞品が当たる抽選会や、キッチンカー・移動動物園も設置し、小さいお子さんから大人まで楽しめるメーデーを開催することが出来ました。

参加者・約千七百名が参加



《2026・メーデースローガン》  
「対話と連携で築く、平和で笑顔あふれる未来  
真の働き方改革で、安心してらせる社会を！」

